

保存修復学Ⅱ

責任者名：宮崎 真至

学期：後期

対象学年：3年

授業形式等：講義

◆担当教員

宮崎 真至(歯科保存学Ⅰ 教授)

陸田 明智(歯科保存学Ⅰ 准教授)

高見澤 俊樹(歯科保存学Ⅰ 准教授)

石井 亮(歯科保存学Ⅰ 助教)

小森谷 康司(歯科保存学Ⅰ 助教)

柴崎 翔(歯科保存学Ⅰ 助教)

◆一般目標 (GIO)

歯科医療に必要な保存修復領域の知識を身につけるために、歯に生じる硬組織疾患の概要を理解し、疾患の治療の進め方の基本を知る。

◆到達目標 (SBO s)

- ① 歯の硬組織疾患 (tooth wear に関連する酸蝕症, 咬耗, 摩耗あるいは歯の変色および象牙質知覚過敏症) の病因と病態を説明できる。
- ② 齲蝕およびその他の歯の硬組織疾患 (tooth wear, 生活歯の変色, 象牙質知覚過敏症を含む) の症状, 検査法, 診断及び処置法 (再石灰化療法を含む) を説明できる。
- ③ Minimal Intervention <MI>に基づく歯科治療の意義, 臨床的対応を説明できる。
- ④ 修復材料とその取扱い, 修復法の適応を説明できる。
- ⑤ 修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。
- ⑥ 窩洞形成の意義と方法を説明できる。
- ⑦ 仮封の意義, 種類および特徴を説明できる。
- ⑧ 修復後の管理の目的と方法を説明できる。

◆評価方法

平常試験 (40%) および定期試験 (60%) で評価する。

平常試験は10月30日(月)の11:00~11:50で実施する。試験内容は、前期の講義内容(とくに齲蝕に関する範囲)および後期第1~11回の講義範囲とする。試験の実施場所は、131講義室とする。

平常試験については解説(フィードバック)を行うので、当該講義での教育到達度を振り返り、必要に応じて補完すること。

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
宮崎 真至	月曜日 17:00~18:00 歯科保存学第Ⅰ講座教授室	miyazaki.masashi@nihon-u.ac.jp	

陸田 明智	月曜日 17:00~18:00 歯科保存学第 I 講座医局	rikuta.akitomo@nihon-u.ac.jp	
高見澤 俊樹	月曜日 17:00~18:00 歯科保存学第 I 講座医局	takamizawa.toshiki@nihon-u.ac.jp	
石井 亮	月曜日 17:00~18:00 歯科保存学第 I 講座医局	ishi.ryou@nihon-u.ac.jp	
柴崎 翔	月曜日 17:00~18:00 歯科保存学第 I 講座医局	shibazaki.shou@nihon-u.ac.jp	

◆授業の方法

対面で行う。必要に応じて講義資料は Google カレンダーに添付する。

スライド、プリントで得られる情報には限りがあるので、講義を傾聴するとともに復習すること。

【実務経験】宮崎真至：現在、在職している日本大学歯学部附属歯科病院保存修復科での経験および歯科保存学第 I 講座の教授として研究等で得られた最新の知見を踏まえながら、歯科医療に必要な保存修復領域の基本的知識を修得する場を提供したいと考えている。

【実務経験】陸田明智、高見沢俊樹、石井 亮、小森谷康司、柴崎 翔：現在、在職している日本大学歯学部附属歯科病院保存修復科での経験を踏まえながら、CBT や歯科医師国家試験への対応も含めて、歯科医療に必要な保存修復領域の基本的知識を修得する場を提供したいと考えている。

◆教材（教科書、参考図書、プリント等）

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
教科書	保存修復学第 7 版	宮崎真至, 千田 彰, 斎藤隆史, 向井義晴, 林美加子 [編]	医歯薬出版	2019
プリント配付				

◆DP・CP

コンピテンス 4：歯科医学および関連領域の知識

コンピテンス：4-3, 4-4, 4-5, 4-6, 4-7

対応するディプロマ・ポリシー：DP4

◆準備学習(予習・復習)

事前に各回で行われる講義内容を確認し、教科書の該当範囲に目を通すことで、学習項目の概要について把握しておくこと。

復習では、教科書を用いて講義ノートおよびプリントの不足部分を補完すること。

授業内容に関する質問は授業開始前および終了後に受け付けるが、オフィスアワーも有効活用すること。

◆準備学習時間

各回の学習項目に沿って予習と復習を行えるよう、講義1コマに対して2コマ程度の時間を確保すること。

◆全学年を通しての関連教科

保存修復学Ⅰ（3年前期）

保存修復学実習Ⅰ（3年前期）

保存修復学実習Ⅱ（3年後期）

歯科理工学Ⅱ（3年前期）

歯科理工学実習Ⅱ（3年前期）

ベーシックカリオロジー（3年前期）

クリニカルカリオロジー（3年後期）

臨床実習（5年通年）

臨床実習アドバンスト（6年前期）

◆予定表

回	クラス	月日	時間	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1		9.11	3	1. 硬組織疾患の処 置 (1) 間接修復総論 (教1) pp.181-247	・間接修復と直接修復の違いを理解 できる。	宮崎 真至	D-2 歯科材料 の種類, 用 途, 成分・組 成, 特性, 操 作方法 E-3-3)-(1) う 蝕その他の歯 の硬組織疾患 の診断と治療
2		9.11	4	1. 硬組織疾患の処 置 (2) 1. 硬組織疾患の処 置 間接修復総論 1) 治療計画 2) 硬組織疾患の処 置 (教1) pp.181-247	・硬組織疾患の特徴をふまえた治療 計画の立案について理解できる。 ・歯質の処置方針について理解でき る。	宮崎 真至	D-2 歯科材料 の種類, 用 途, 成分・組 成, 特性, 操 作方法 E-3-3)-(1) う 蝕その他の歯 の硬組織疾患 の診断と治療
3		9.25	3	1. 硬組織疾患の処 置 (3) 3) 窩洞 (1) 窩洞外形	・修復物が填塞される窩洞の分類, 窩洞の具備すべき条件の窩洞外形, 保持形態, 抵抗形態, 便宜形態, 窩 縁形態などを説明できる。	宮崎 真至	D-2 歯科材料 の種類, 用 途, 成分・組 成, 特性, 操

				(2) 保持形態 (3) 抵抗形態 (4) 便宜形態 (5) 窩縁形態 (6) 窩洞の清掃 (教1) pp.109-120			作方法 E-3-3)-(1) う 蝕その他の歯 の硬組織疾患 の診断と治療
4		9.25	4	1. 硬組織疾患の処 置 (3) 4) 修復治療の留意 点 (1) 歯髄障害の原 因 (2) 裏層 (歯髄保 護) (3) 仮封 (教1) pp.120-125	・ 歯髄の存在理由および修復操作に ともなって生じる歯髄刺激の内容と 障害を防止する裏層, 仮封などの歯 髄保護処置の重要性を説明できる。	小森谷 康 司	D-2 歯科材料 の種類, 用 途, 成分・組 成, 特性, 操 作方法 E-3-3)-(1) う 蝕その他の歯 の硬組織疾患 の診断と治療 E-3-2) 歯と歯 周組織の疾患 の特徴と病因
5		10.2	3	2. 診療設備, 診療 姿勢 3. 硬組織の切削	・ 水平位診療を説明できる。 ・ 窩洞形成とそれに使用する手用お よび回転式切削器具の種類と方法を 説明できる。 ・ 硬組織の切削方法について説明で きる。	柴崎 翔	D-2 歯科材料 の種類, 用 途, 成分・組 成, 特性, 操 作方法 E-3-3)-(1) う 蝕その他の歯 の硬組織疾患 の診断と治療 E-3-2) 歯と歯 周組織の疾患 の特徴と病因
6		10.2	4	4. 修復時の留意点 1) 修復治療の前準 備 (1) 隔壁と防湿法 (2) 歯間分離法 (3) 歯肉排除法 (教1) pp.126-134	・ 修復操作を容易に確実に実施する ための修復前準備処置を説明でき る。	柴崎 翔	D-2 歯科材料 の種類, 用 途, 成分・組 成, 特性, 操 作方法 E-3-3)-(1) う 蝕その他の歯 の硬組織疾患 の診断と治療

7		10.9	3	5. 鑄造修復 (1) 1) 鑄造修復とは 2) インレーの特徴 3) 窩洞の特徴 (教1) pp.192-195	・鑄造修復法の歴史、種類および特徴を説明できる。 ・Blackの窩洞形態の原則を説明できる。	陸田 明智	D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 E-3-3)-(1) う蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療
8		10.9	4	5. 鑄造修復 (2) 4) メタルインレー製作法 5) 印象材と印象法 (教1) pp.196-198	・間接法メタルインレーの製作法について、臨床ステップに沿って使用される材料の特性、使用方法を説明できる。 ・メタルインレーの製作法について、印象材と印象法について説明できる。	陸田 明智	D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 E-3-3)-(1) う蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療
9		10.16	3	5. 鑄造修復 (3) 6) 咬合採得 7) 模型調整法 8) インレーワックス (教1) pp.198-201	・メタルインレーの製作法について、咬合採得、模型調整法、インレーワックスの特性、使用方法を説明できる。	陸田 明智	D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 E-3-3)-(1) う蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療
10		10.16	4	5. 鑄造修復 (4) 9) 埋没前準備 10) 埋没法 11) 金属の種類と組成 12) 鑄造法 (教1) pp.192-194 pp.201-205	・メタルインレーの製作法について、埋没材、埋没前準備および埋没法について説明できる。 ・メタルインレーの鑄造用金属および鑄造法について説明できる。	陸田 明智	D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 E-3-3)-(1) う蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療
11		10.23	3	5. 鑄造修復 (5) 13) 鑄造欠陥	・メタルインレーの鑄造欠陥について説明できる。	陸田 明智	D-2 歯科材料の種類、用

				<p>14) 鋳造体の仕上げ研磨法</p> <p>15) 鋳造体の合着法</p> <p>16) インレー体装着後の予後 (教1) pp.206-209</p>	<p>・鋳造されたインレー体が口腔内で機能するための仕上げ研磨法および正しい合着法を説明できる。</p> <p>・インレー体合着後の予後について説明できる。</p>		<p>途, 成分・組成, 特性, 操作方法</p> <p>E-3-3)-(1) う蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療</p>
12		10.23	4	<p>6. メタルフリー修復</p> <p>1) コンポジットレジンインレー</p>	<p>コンポジットインレーの特徴を理解する。</p>	石井 亮	<p>D-2 歯科材料の種類, 用途, 成分・組成, 特性, 操作方法</p> <p>E-3-3)-(1) う蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療</p>
13		10.30	3	<p>平常試験</p> <p>試験場所: 131 講義室, 132 講義室</p>	<p>出題範囲は, 前期の講義内容 (とくに齶蝕に関する範囲) および後期の授業 1~11 回までの範囲とする。</p>	宮崎 真至 高見澤 俊樹	<p>D-2 歯科材料の種類, 用途, 成分・組成, 特性, 操作方法</p> <p>E-3-3)-(1) う蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療</p>
14		10.30	4	<p>平常試験の解説</p>	<p>試験の解説 (フィードバック) を聞くことで, 理解不足であった内容を自覚し, 該当する講義の内容を振り返る。</p>	高見澤 俊樹	<p>D-2 歯科材料の種類, 用途, 成分・組成, 特性, 操作方法</p> <p>E-3-3)-(1) う蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療</p>
15		11.6	3	<p>6. メタルフリー修復</p> <p>2) セラミックインレー</p>	<p>・セラミックインレーの特徴を理解する。</p>	石井 亮	<p>D-2 歯科材料の種類, 用途, 成分・組成, 特性, 操作方法</p>

							E-3-3)-(1) う蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療
16		11.6	4	6. メタルフリー修復 3) メタルインレーとメタルフリーインレーとの違い	・用いる材料によって臨床術式が異なることを理解する。	石井 亮	D-2 歯科材料の種類, 用途, 成分・組成, 特性, 操作方法 E-3-3)-(1) う蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療
17		11.13	3	6. メタルフリー修復 1) CAD/CAM 修復	・CAD/CAM について理解する。 ・CAD/CAM 修復について理解する。 ・CAD-CAM を用いたインレー製作法を説明できる。	高見澤 俊樹	D-2 歯科材料の種類, 用途, 成分・組成, 特性, 操作方法 E-3-3)-(1) う蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療
18		11.13	4	7. 合着・接着用セメント 1) 種類とその組成 2) 異なるセメントの特徴	・セメントの種類とその特徴を理解する	石井 亮	D-2 歯科材料の種類, 用途, 成分・組成, 特性, 操作方法 E-3-3)-(1) う蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療
19		11.20	3	7. 合着・接着用セメント 3) セメントの使い分け 4) 歯面, 修復物内面処理	・セメントの使い分けと歯面および修復物内面について理解する。	石井 亮	D-2 歯科材料の種類, 用途, 成分・組成, 特性, 操作方法 E-3-3)-(1) う蝕その他の歯の硬組織疾患

							の診断と治療
20		11.20	4	まとめ 授業アンケート	<ul style="list-style-type: none"> ・インレー修復における使用材料における相違点を理解できる ・直接法と間接法の違いを理解できる 	高見澤 俊樹	D-2 歯科材料の種類, 用途, 成分・組成, 特性, 操作方法 E-3-3)-(1) う蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療

